

NEWS LETTER



NO.33

2009.7.1

発行：にほんごひろば岡本

〒658 - 0003 神戸市東灘区本山中町 4 - 18 - 22

☎078 - 453 - 5931

http://www.geocities.jp/nihongohiroba_okamoto

にほんごひろば岡本

知らず知らずのうちに

いつの間にか娘は大きくなってきた。服のサイズが変わり、見方や考え方も変わってきた。それに悩みも多くなってきたようだ。

この一年間、私は彼女のいろいろな質問に困り、あやふやな返事をしてきた。すべてを覚えてはいないが、「人間は何のために生きているの？」と聞かれたことがあった。また、『西の魔女が死んだ』という映画をみた後、「人は死んだらどうなるの？天国にいるの？」と娘は真剣に聞いてきた。

私はこんな哲学的な問題は苦手だ。大人でもこのような問題は難しいのに、なんて返事をしてやればいいのだろうか。

最近、彼女は以前よりもっと繊細になってきた。数日前、いつも一緒に登下校している友達から仲間はずれにされ、落ち込んでいた。慰めても効き目はなかった。学校から配られたあるチラシをみて、人権擁護委員協議会にSOSのミニレターを書いた。

ポストに入れる前に彼女は私に「お母さん、入れてもいい？」と。

娘の相談に返事が届いた。的確なアドバイスのようだった。

成長と共にいろいろな悩みが出てくるようになった。

娘の話を聞くとき、いいかげんであってはならない、一所懸命に考えて話してやる、できるだけ彼女の周りの人の気持ちを理解させ、ストレスを解放するようにしてやる、今はこんなことを考えている。

まだ、10歳足らずの娘にとってはかなり難しいことだと思う。しかし、自分のいやな気持ちを私に訴えるだけでも少しばらは楽になるだろう。

完璧な人間はいない。自分なりの生き方で生きていけたら充分だ。

これから娘は自分で考える力を身につけなければならないだろう。（文・写真 李 俊瑠）



「にほんごひろば岡本」第10回総会の報告

第10回総会が2009年5月30日(土)に開催されましたので簡単に報告いたします。

(議事内容)

- 第1号議案・・2008年度活動報告
- 第2号議案・・2008年度収支報告
- 第3号議案・・2009年度活動方針
- 第4号議案・・2009年度予算
- 第5号議案・・2009年度役員改選



(総会設立要件)

登録者総数 31名、出席者 10名、委任状 11名で規約により過半数以上を満たしているので本総会は成立しました。

以上の議案について議事が行なわれ、すべて承認されました。

審議された内容について少しご説明させていただきます(なお、各議案の詳細については皆様に配布済の「第10回総会議案書」を参照ください)。

第1号議案 2008年度活動報告のまとめ(今後の課題)

「運営委員の役割分担を明確にする」

昨年より各イベント毎に担当の運営委員を決めて企画・運営を行なってきましたが今年はイベント運営だけでなく、ひろば運営に必要な業務に関しても極力、運営委員が分担していくことになりました。

また、新しい学習者と支援者のマッチング、新しい支援者に対するサポート(初心者お助け隊)、学習者や支援者の抱える悩みや問題点などの解決支援を行なうための「コーディネーター」を井畠さんにお願いすることになりました。

「学習者及び支援者リストの適宜更新」

今回の新型インフルエンザ休講の連絡やその他緊急連絡に対処するため学習者及び支援者の連絡リストを適宜更新していきます。

学習者に対する各種の連絡、お知らせは基本的には各支援者からそれぞれの担当の学習者に行なっていただきます。ご協力宜しくお願いします。

「支援者交流会」

本年度も支援者交流会の開催が決まりました(企画内容は後日運営委員会で討議)

ひろばの運営にはより多くの支援者の方々のご協力が欠かせません。支援者交流会はひろば運営に関する支援者の皆さんのご意見、ご要望を聞かせていただく場として、また支援者間のコミュニケーションの場として期待されています。

「その他」

学習支援をより効率的に行なうため大きな白板がほしいというご意見が出され、西村代表から2009年度予算で購入の返事をいただきました。納品されましたら皆さんも大いに活用ください。

学習者や支援者が多くなり皆さんの名前が分からぬという意見があり学習者、支援者ともネームプレートを作成し着用することになりました。

第5号議案 2009年度役員が次のように決定しました。

代表	1名	西村佳子
副代表	2名	下田美津子 宮武寿美雄
会計	1名	坂本喬子
会計監査	2名	黒岩元晴 田渕純子
コーディネーター	1名	井畠眞理子
運営委員		市川邦子 大西勇 小澤恭子 坂本喬子 佐々木五十四
		橋本桂子 古瀬尚子 松見和代 三木(古川)知津子

〔総会を終えて〕

今回は新型インフルエンザ休講の直後の開催のため、総会のお知らせが充分行き届かなかったのか出席が10名と少なく寂しい総会となりました。来年はより多くの方々に出席いただけるようお願い申し上げます。(宮武寿美雄)

学習者紹介

方 ザオリンさん(台湾出身)

将来はパーティシェ

方さんは私のボランティア活動の最初の学習者です。

昨年2008年の1月から担当しました。1年半経過しているので学習回数も前回が36回目でした。なぜ1年半後に紹介することになったのか?6回目が終わった昨年2月末、帰国されたので紹介のチャンスを逸したのでしょうか。そして、10月に再来日して11月からひろばに来られ現在にいたっています。

彼は台湾出身の好男子、長身でがっしりした体格の堂々たる風貌の若者です。日本にはケーキ作りを習得するために来ています。将来はパーティシェ工です。朝5時から8時までケーキを作り、9時からは日本語学校に通う毎日です。近辺のおいしいといわれるケーキはみんな食べたとのことで“堂島ロール”は2回は売切れで買えず、3回目でやっと買えたそうです。

彼のおじいさんは戦前、神戸で小学校に通われたそうで、そんな環境から彼は日本語には小さい頃から“親しんで”いたと思われます。当初から文法はしっかりしており、あまり教えたという記憶はありません。今まで36回もなにをしてき



たか? “会話”の練習をしてきたというのが正しい答のように思います。

彼は日本語の知識は充分あるのに話せませんでした。(話せませんでした。)話す機会がなかった、話す必要がなかったというのが正しいかもしれません。また、若い男性にありがちな無口な性格なのでしょう。ほとんど話をしませんでした。

ここ1~2ヶ月はだいぶ話をしてくれるようになりました。最近は7月の日本語能力試験2級を受験するのでその問題集をしていますが、会話にも重点を置いています。彼の実力からして2級の試験には合格するだろうと思っています。試験の問題を通して私が彼に日本語を教えることもあります。2級の問題にもなると、彼の質問に確実に答えられないのが残念です。

たとえば、

- | | | |
|---------|----|-------|
| 1. ~以上は | 意味 | ~からには |
| 2. ~上は | 意味 | ~からには |

3. ~からには 意味 ~のだから当然
これらは、みんな【~からには】と同じ意味と
いうことになります。本当にそうか？ なぜ同じ
ことに多くの表現方法があるのか？

これから学習も『話す』を主にやっていくつ
もりです。とにかく、彼が持っている日本語で躊
躇なく話せるように支援していきたいと思っ
ています。 (佐々木五十四)

ヴィット&チャウさん(ベトナム出身)

いつもいっしょ

やや太めでゆったりとしたヴィットさん (BUI ANH VIET) はウイットに富み、スラリと伸びた
容姿に笑顔と目の美しいチャウさん (NGUYEN CAO BAO CHAU) は繊細なセンスの持ち主で
す。



今年2月から『にほんご45じかん』を使って、
二人いっしょに勉強を始めました。

机の向こうに並んだ二人と日本語をやりとり
しているとき、ふと気がつくと二人の間で早口の
ベトナム語が飛び交うことがあります。二人は日
本語を競い合っているのです。そのときはたいて
いチャウさんのひじがヴィットさんの胸を突っ
突くのですが、ヴィットさんはにこにこしながら
それを受け流します。

昨年結婚したばかりの若い夫妻は、今は同じ製
品加工工場で働いています。ヴィットさんは製品
を作る人、チャウさんは検査する人だそうで、こ
こでもだんなさんは奥さんに仕事の出来栄えを

チェックされているようです。

不思議なことに、二人を相手にしているはずな
のに一人を相手にしているのと変わらないので
す。二人の息がぴったり合っているからでしょう。

来年、結婚以来はじめて共通の故郷・ホーチミ
ンへ里帰りするのを楽しみにしながら、今は仕事
と日本語に打ち込んでいる仲良し夫妻です。

(大西勇)

パブリシンコ・コンスタンチンさん(ロシア 出身)

双子の娘のパパです

コンスタンチンさんは昨年の11月、家族(奥様
ナターシャと双子の娘)と来日しました。ナタ
ーシャさんは通訳の仕事をなさっているので、彼は
やんちゃ盛りの2歳半の娘の世話をしながら、仕
事を探しています。

彼はロシアのハバロフスクから来ました。どう
いう所なのか私達のつたない英会話では想像で
しか分かりません。初級のため「ひらがな、カタ
カナ」から始まり、フリートークなしの90分、
終わったら歳のせいかどうかと疲れます。

年齢は私の息子と同じ28歳、まだ10回ほどの
勉強なのに頭が良くてまるでスポンジのように
文法を一回でマスターしてくれます。もうびっくり
り！



私にとってロシア出身の学習者を担当するの
は彼で三人目です。過去の二人は主婦でした。三
人の共通点は頭が良くて、休まず、とても熱心に

学習するところです。

近いうち、双子のマリーヤとエリザベートに会って遊ぶのを楽しみにしています。(市川邦子)

ディーパーチュ・パノムさん(タイ出身)

夢はタイレストランのオーナー

昨年10月から、私と学習しているパノムさんは、タイ人で40歳、タイ料理レストラン「クワンチャイ」で、コックとして働いていらっしゃいます。同僚のデーンさんの紹介で、ひろばに来られるようになりました。

パノムさんは、2002年に来日され、全く独学で日本語を勉強されていたそうで、人から日本語を習うのは、ひろばでの学習が、初めてだそうです。彼が持っているボロボロの『みんなの日本語』を見れば、今まで一人で、どれだけ熱心に勉強されていたか、よくわかります。

今は基礎から文法を学習して、できるだけスムーズに話せるよう私もお手伝いさせて頂いています。



パノムさんのご家族は、タイに奥様と息子さんが二人おられ、時々、家族のことも話してくださいます。

形容詞の学習の中で、私が「パノムさんの奥さんは、きれいでやさしいです」と言うと、真っ赤な顔をして「いいえ、きれいではありません」と照れいらっしゃいましたが、よくよく聞いてみると、目が大きくて、スリムで本当にやさしい奥様みたいですよ。

パノムさんの夢は、いつか日本かタイでタイ料理レストランを持つこと。

毎週水曜日、仕事の合間の僅かの休憩時間を利用して、一生懸命日本語を勉強しにひろばに来られるパノムさんは、とても笑顔の素敵な方です。そんな彼の夢が、できるだけ早く実現して、ご家族と一緒に暮らせるようになれるように、応援するばかりです。

(橋本桂子)

權 ヨンジュ・ヨンソ兄妹(韓国出身)

3カ国で口げんか、でも仲良し

韓国から来た中学生と小学生の兄妹です。六甲アイランドのカナディアン・アカデミーに在学中です。昨年の3月からの学習ですから、早くも1年3ヶ月がたちました。妹のヨンソちゃんは、昨年末のスピーチ大会のオーディエンス賞で惜しくも2位になるほどの上手な日本語を覚えていらっしゃると思います。

最初のころ二人一緒に支援をしていましたが、「けんかするほど仲がいい」二人で、学習が進められないほどにぎやかなので、二人を別々にして、学習する曜日を変えたこともありました。二人の口げんかは、英語と韓国語と日本語のミックスで、聞いていると、こちらの頭がスパークしてしまいそうな早さでした。

ヨンジエ君もヨンソちゃんも学校で日本語の授業をとっています。上手に日本語を話しますし、漢字もたくさん知っています。教える方には、とてもやりがいのある学習者さんです。

ヨンソちゃんは、話題が豊富で、おしゃべりが大好きです。ですから作文を書くと、楽しくて中身がいっぱいの作文を書いてくれます。反対にヨンジエ君は、余計なおしゃべりはしません。彼に何かしゃべってもらおうと思うと、こちらが色々と聞き出さなくてはならないので大変です。

この一年で二人とも背が高くなり、子供っぽさがなくなりました。特にヨンジエ君は男っぽ

くなり、自慢の息子の成長を喜ぶ、母の気持ちで見ています。



残念なことに、7月には韓国に帰るそうです。寂しいですね。韓国の受験事情は、日本以上に大変と聞いています。今までお父さんの仕事の都合で、いろいろな国で生活してきた二人のことだから大丈夫だとは思いますが、ガンバレ！と応援したいです。受験が終わったら、ぜひ日本に遊びにきてね。

（小澤恭子）

ヴィティカセキット・シリポーンさん（タイ出身）

桜に惹かれて日本へ！

タイ料理の女性シェフです。故郷はタイの首都バンコクから車で約1時間のスファンブリという所で、五人兄姉の末っ子で育ちました。とても人懐っこい、優しい笑顔のシェフです。

食べることが大好きなのでシェフになり、バンコクのホテルで働いていた時、仲間のシェフから日本の話を聞いたり、桜の写真を見たりして是非行ってみたくなり、日本行きを希望し念願叶って来日したそうです。

昨年、今年と2回、きれいな桜を楽しみ VERY HAPPY で日本がとても好きになったと言っていま

した。

今いちばん行きたいところは沖縄で、いろんな沖縄料理が食べてみたい。やはりシェフ、料理に繋がっています。何故沖縄？ 私は寒い所はダメ、暑い所が好き、と答えてくれました。



多忙な毎日ですが、沖縄行きの夢が叶うように頑張っているシリポーンさん、近いうち、きっと実現するでしょう。応援していますよ。

最後にクイズです。シリポーンさんが1番最初に覚えた日本語は次のどれでしょう？

《こんにちは》《喜んで》《美味しい》《分からない》《なに？》《ムリ》《キレイ》答えは、シリポーンさんに聞いてみてください。

（坂本喬子）

李 ヒョンハ・テヂョン姉妹（韓国出身）

シャイでおしゃれな癒し系

韓国から来た姉妹です。六甲アイランドのカナディアン・アカデミーに通っています。お姉さんのヒョンハちゃん13歳、妹さんのテヂョンちゃん10歳の女の子らしい静かな姉妹です。

神戸に来るまでは京都にしばらく住んでいたそうで、二人の日本語会話は、とても自然なものです。でも漢字や文章を読んだり書いたりするのは苦手なので、今はそれを勉強しています。

昨年の10月から学習を始めました。二人のご両親は熱心なクリスチヤンで、日曜日は家族で教会に礼拝に行きます。そのせいでしょうか、二人は真面目でシャイです。初めは声も小さく

てなかなか会話もはずまない状態でした。最近はにっこりしてくれるので、ヤッターと思っています。ヒョンハちゃんは、おしゃれな女の子です。いつもかっこいいし、ピアスしているし、バレエをしていたのでスタイルもいいし、会うたびに感心しています。テヂヨンちゃんは目の愛くるしいかわいいお嬢さんです。いやし系のテヂヨンちゃんに心がいやされています。



ヒョンハちゃんは作文が苦手なので練習していて、学校の作文の宿題を手伝うこともあります。アメリカンスクールの日本語の授業だからと思っていると、とんでもありません。うーん、とうなるようなレベルの高いものでした。私達が英語を勉強していたような感じでしょうか。がんばって！と心で応援しています。テヂヨンちゃんに新しい先生が見つかり、6月から吉岡さんと学習するようになりました。テヂヨンちゃんもがんばって！（小澤恭子）

パンナルノタイさん親子（タイ出身）

どちらが先に上手になるかな？

4月から新しくひろばで勉強している、ティダラット・パンナルノタイさんとヤニサ・パンナルノタイちゃんです。通称はサーさん（母）とナイちゃん（娘）です。

サーさんとナイちゃんは、タイ人です。今はご主人の仕事の都合で日本に住んでいます。

サーさんは、独学で『みんなの日本語』で独習していましたが、会話が上達せず、お友達

とはいつも英語でお話をしていますが、日本人のお母さん友達とも日本語で話したいということで、がんばって学習しています。日本語が上手になったら、仕事もしたいと話していました。

ナイちゃんは、インターナショナルスクールに通っているので、タイ語と同じくらい英語も上手です。これから日本語も上手になると思うので、将来はトリリンガル！です。

今は漢字の勉強を中心に日本語のことばを覚えています。

とってもおとなしくて控え目な親子ですが、



実はサーさんは3人娘を持つ「肝っ玉母さん」だそうです！

もうすぐ出産する私のために、ベビーカーやベビー服をくださったり、いろいろなアドバイスもしていただきます。

サーさんもナイちゃんも最初に比べるととても会話が上手になり、よく話すようになりました！

どちらが先に日本語が上手になるか、親子で日々競争しています。（三木知津子）

クラウディアちゃん・コリナちゃん（スイス出身）

爽やかな風のようなC・Cシスターズ

土曜日の朝、ひろばに来ている人なら、見かけたことがあるはずです。ハイジのお国からやって来た、かわいい姉妹です。

お姉さんはクラウディア（Claudia）妹さんは

コリナ(Corinna)なので、私の中だけの通称も「C・C シスターズ」なのですが、こうやって二人をいっしょに姉妹として紹介するのはなかなか難しいのです。外見や雰囲気は、さすが姉妹！ とてもよく似ていますが、中身はというと、これまた兄弟姉妹のご多分にもれず、まったく違っていてひとまとめにはできません。

二人の上にはもう一人お兄さんがいるので、クラウディアには二番目の苦労人なんだろう



なあというところがあります。お父さんのお仕事の都合とはいえ、母語の通じない外国で暮らすということは、幼い彼女たちにとって、ときには大変なストレスだと思います。日本語がまだ達者じゃないからという理由以前に、クラウディアには遠慮して言いたいことを言わないという慎み深いところがあります。たとえば「なんでせっかくのお休みに日本語習いに来ないとあかんの？」とか・・・。

末っ子のコリナはまさに末っ子。昨年末の「お楽しみ会」で、お母さんのスピーチに合わせてひょうきんなお菓子やさんを演じてくれた姿を覚えているかたも多いのではないでしょうか。兄弟3人で通うマリスト・ブラザーズ・インターナショナル・スクールではスケートボード・クラブに入ってぶつ飛ばしていたり、水上スキーもやってみたい！ というすごく活発な女の子です。

先日、この二人は非常に恐ろしい出来事に遭遇しました。にほんごひろばに来る途中、おかしな男の人にクラウディアが後ろから抱きつかれたのです。普段はとてもおとなしい彼女ですが、その時は声を出して振りほどくと、それ以上はその

変質者も追っては来なかったそうです。が、そんなことがあったというのに、ひろばに来てもひと言もそれには触れずに、いつものように勉強して帰りました。きっと心は平静ではなかったはずです。お母さんのカリンさんによると「心が止まってしまった」と。帰宅後、話を聞いたご両親が警察に連絡したところ、やってきたお巡りさんに、その変質者の風采について、しっかりと、ちゃんと屋さんのコリナが的確に報告したそうです。クラウディアもしっかりと、「ひろばの他の生徒にも気をつけるように言ってください」と冷静に私にメールをくれました。そんな怖い目にあったのに、休まずにひろばに通って来る君たちはエライ！！

（古瀬尚子）

支援者・学習者紹介

中西美幸さん
黄スジンさん（韓国出身）

笑いの絶えないレッスンです

初めまして。中西と申します。昨年秋よりサポートをさせていただいています。普段は小中高校生を相手に自宅で学習教室をしています。教えることが大好きで、外国の方とも接することに興味があって日本語教師養成講座に通いました。

昨年春に420時間の講座終了後、日本語学校のクラス授業を60時間実習させていただきました。自分が学生に戻った気分で楽しくて仕方がなかったのですが、感覚的に理解している日本語を外国の方にわかるように、順序だてて説明するのは習ったようにはいかず、臨機応変の連続で学習者の方に助けられ、自分の勉強不足をひしひしと感じました。

その後、日本語を教える機会もなかったところ、「にほんごひろば岡本」と出会うことができ、少しずつ経験を積むことができて感謝しています。「にほんごひろば岡本」は支援者や学習者の方々の雰囲気がとてもよく、支援者の方それぞれが学

習者の立場に立ってまじめに向き合っていらっしゃる感じがします。

さて、私の担当している学習者であるファン(黄)・スジンさんを紹介します。



ファンさんは昨年の10月に韓国から日本に来たばかりの、神戸大学大学院の留学生です。とても明るくいつも元気です。使用している『みんなの日本語』の聴解問題のテープを借りて帰って自分で聴いてきたりして、日本語の勉強にとても熱心です。

“～しませんか”“～しましょう”の表現を勉強した翌週に、「おひるごはんをいっしょにたべませんか」と日本人の友達を誘うことができた、という報告をしてくれた時は私もとてもうれしかったです。

学習した内容の復習も含めながらのフリートークは、食べ物の話で盛り上がったりしてとても楽しく、二人で思わず大きな声で笑ったりすることもしばしば。(周りで勉強中の方々、すみません。)

彼女の積極的なやる気は、昨年末のお楽しみ会で他のみなさんにも伝わるところとなりました。日本語はまったくの初級で(実際はひらがなやカタカナはもうしっかり読めっていましたが)まだ数回しかレッスンしていないのに「スピーチ大会に出たい!」と言うのです。その前向きな姿勢に心から拍手を送りつつ、どのようにサポートしてあげられるのか少し不安も感じていました。ところが当日、ご存知のように「よみきかせ」というタイトルで、自分でステキな絵を書いて、紙芝居式

に立派に発表することができました。

ファンさん、感動をありがとう!

あなたから、いつも元気をもらいます。こんな拙い支援者で申し訳ないけど、これからもどうぞよろしくね!

支援者紹介

はじまして、古川翠です。

神戸松蔭女子学院大学の2回生です。外国語に



とても興味があり、1回生の時に韓国語を勉強し、今は中国語を勉強しているところです。まだ専攻はないのですが、来年、主専攻で日本語教育を学び、将来は日本語教師として、外国で日本語を教えたいと思っています。

下田先生のご紹介でひろばで支援をすることになり、今は中学1年生のエンゲツちゃん(中国出身)と神戸大学に通うチェさんと学習をしています。

エンゲツちゃんはまだ日本に来たばかりなので、学校の授業に追いつくことを優先に学習しています。宿題はきちんとやってくるので、成長が期待できます。

いずれは自分の意見を日本語で話せるようになるまでお手伝いしたいと思っています。

チェさんは韓国で10ヶ月、日本語を勉強していたということで、日本語を自然な発音で話します。日本語能力試験1級にチャレンジし、更には漢字検定、ビジネス日本語能力テストにも興味があるという向上心に満ちた学生です。

私も彼を見習って頑張りたいと思います。

週1回ですが、良い経験をさせていただいてい

ます。やる気ある2人の成長に負けないよう私も成長していきたいと思います。

春から新しくボランティアスタッフに加わりました、桑田綾子です。

趙恵玲ちゃんの担当を田村先生と一緒にしています。

恵玲ちゃんは日本語がとても上手で、いつも学校のことや趣味のことなどいろいろな話をしながら勉強をしています。これからも楽しく勉強できる雰囲気をつくり頑張っていこうと思います。

まだまだ勉強中の身ですが、よろしくお願ひします。(写真は左から先輩の安楽さん・桑田さん・古川さんと先輩の矢崎さん)

みんなのひろば

【ウィル・マーカンドさん、ご結婚!!】

スピーチ大会で失敗して耳まで真っ赤にし
た彼をかわいいって思っていたお嬢さん方、

ゲームの司会で大ウケだった彼を見て「うちの婿に」と目論んでいたお母さん方、

残念でした。

2009年4月4日、ウィル・マーカンドくんは久美ちゃんと結婚してしまいました。

結婚式はなんと常光寺というお寺で執り行われました。写真の新郎新婦の後ろには、仏様が鎮座しておられます。

イギリスからのご親戚、遠くはカナダ、ドバイからのお友達、もちろん日本での友人も駆けつけるという式は、ウィルの人柄の良さを物語っていました。

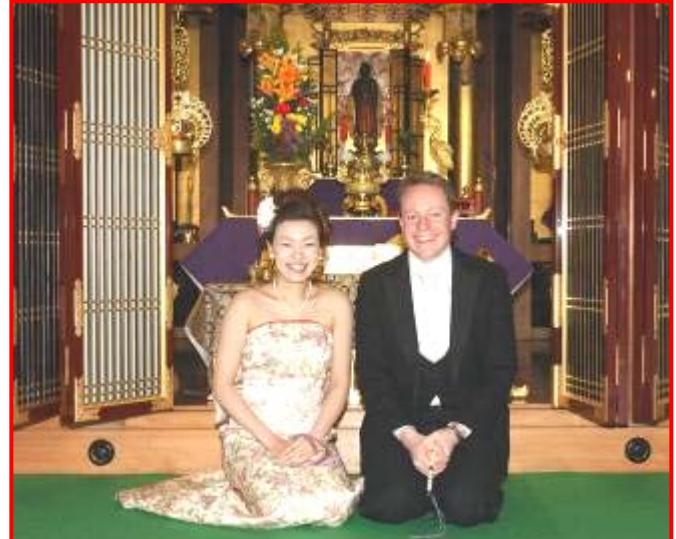
ひろばでの付き合いは2年以上にもなるというのに、この日に初めて知ったことがあります。

彼のお祖父さんはエドマンド・ブランデンという有名な詩人で、戦前には東京大学で教鞭をとられ、戦後は政府の文化使節として在日しておられたのです。奥ゆかしい彼はそのようなことを話題にしたことはありませんでした。

常光寺のご住職は、偶然にも1947年に東京大学であったブランデン氏の講演を聞いておられ、英国人の寛容さ、自由さ、優しさに大変感銘をうけられたそうです。戦時中は鬼畜米英と叩き込まれた青年ご住職には相当なカルチャーショックだったことでしょう。ご住職の受けられた感動をもっと詳しくお知りになりたいお方はエドマンド・ブランデンでネット検索してみてください。「HIROSHIMA」という詩でお分かりになると思います。

ウィルの白人らしくない偏見の無さや開かれた心は、幼いときの海外生活の所為かと合点していたのは間違いで、それはDNAのなせる業だったのかもしれません。彼のお母さんが、ご自分のお父さんと息子が同じようにこの日本でそれぞれの生活を切り開いて根を下ろしたと思うと感無量だと涙ぐんでおられたのが、心に沁みました。

ウィル、久美ちゃん、末永くお幸せにお暮らしください。(古瀬尚子)



【中禮かおりさん ご結婚おめでとう！長い間ありがとう！お幸せに！】



ひろばスタート時は松蔭の学生ボランティアとして、大学卒業後は仕事をしながら支援をしてくれました。その彼女が、ご主人の待つ福岡で新生活を始めます。結婚式は母校のチャペルで、来年行なうそうです。



ひろばを支えてくださった労をねぎらい「追い出しパーティー」を開きました。最初の学習者の宮本メイリンさん（台湾出身）や最後の学習者のポンパット君（タイ出身）も参加してくれ、にぎやかなパーティーになりました。

最後に彼女は「学生生活だけでは経験することの出来なかったたくさんの宝を頂きました」と話してくれました。

今、ひろばにはOGボランティアや新人学生ボランティアが活躍しています。

中禮さんたちOGが頑張ってくれたから、途切れることなく続いているんだと、改めて感謝しました。

ほんとうにありがとうございました。神戸に来たときには、必ず顔を見せてくださいね。

【松蔭女学院大学の学校案内誌に「ひろば」が紹介されました】

学生の校外活動の項で「ひろば」が写真入りで紹介されました。これからも学生ボランティアさん、よろしくお願ひします。

【ニュージーランドの額田優さん、元気です】

NZでご活躍の額田優さん、二男誕生でにぎやかになりました。写真で元気を伝えてくださいました。



お知らせ

恒例の七夕飾りもきれいに出来ました。皆さんの願いが叶うように祈っています。

今年の後半の予定が決まりました。楽しみにしてください。

【夏休み】

8月8日(土曜日) 8月12日(水曜日) 8月15日(土曜日)

【ステップアップ講座】

9月~10月の隔週土曜日の午後 全4回を予定しています。
講座内容は初級学習者の支援の仕方ほかです。

【B B Q】

10月24日(土曜日)予定

【お楽しみ会・スピーチ大会】

12月20日(日曜日)予定



CONTENTS

巻頭言 知らず知らずのうちに(文・写真李 俊瑠) 1

第10回総会の報告 2

学習者紹介 方 ザオリンさん 3

ヴィット&チャウさん

パブリシンコ・コンスタンチンさん 4

ディバーチュー・パノムさん

權 ヨンジュ・ヨンソ兄妹 5

ヴティカセキット・シリボーンさん

李 ヒョンハ・テジョン姉妹 6

パンナルノタイさん親子

クラウディア・コリナ姉妹 7

支援者・学習者紹介 中西美幸さん フアン・スジンさん 8

支援者紹介 古川翠さん 桑田綾子さん 9

みんなのひろば 10

お知らせ 12

〔編集子のつぶやき〕今号は新しい仲間をたくさん紹介しました。次号もぞくぞく登場します。お楽しみに(I・M)